

## 日本発生生物学会



会長：阿形 清和  
(2014年1月1日現在)

- 1968年設立
- 会員数：約1,300名 (2014年6月現在)
- 〒650-0047  
神戸市中央区港島南町2-2-3 理学研究所  
発生・再生科学総合研究センター内
- Tel：078-306-3072
- Fax：078-306-3072
- E-mail：jsdbadmin@jsdb.jp
- URL：http://www.jsdb.jp/

本学会は発生生物学の進歩と普及に努めることを目的として設立されました。国際誌Development Growth & Differentiationを刊行し、また年1回の大会を開催しています。さらに、国際発生生物学会の構成学会として国際的にも活動しています。

## 日本微生物生態学会



会長：南澤 究  
(2014年6月1日現在)

- 1985年設立
- 会員数：約1,000名
- 〒113-8657  
東京都文京区弥生1-1-1  
東京大学大学院農学生命科学研究科  
応用生命科学専攻 土壌微生物研究室内  
日本微生物生態学会事務局
- Tel：03-5841-5139
- Fax：03-5841-8042
- URL：http://www.microbial-ecology.jp/

微生物生態学は環境微生物学のほか、微生物生理学、微生物系統進化学、微生物ゲノム科学、公衆衛生学、食品微生物学、環境バイオテクノロジーなどを網羅し、地球システム全体をその研究対象とする総合的学問である。微生物生態学会はそれらを包括する学会として設立された。学術集会を年1回開催するほか、日本土壤微生物学会ならびに台湾微生物生態学会との共同編集により学術誌Microbes and Environments (IF=2.444)を年4回刊行する。

## 日本免疫学会



理事長：斎藤 隆  
(2014年6月1日現在)

- 1970年設立
- 会員数：約4,597名 (2014年7月11日現在)
- 〒101-0061  
東京都千代田区三崎町3-6-2  
原島三崎ビル2F
- Tel：03-3511-9795
- Fax：03-3511-9788
- E-mail：men-eki@s3.dion.ne.jp
- URL：http://www.jsi-men-eki.or.jp/

日本免疫学会は、生体防御と生命恒常性を司る免疫(学)の研究を進展させ、より広く世界に広めることを目指しています。年1回の学術集会の開催、日本免疫学会賞などの顕彰、学術誌 International Immunology やニュースレターの刊行、によって会員の交流促進と若手研究者の育成に積極的に取り組んでいます。さらに、サマースクールや「免疫ふしぎ未来」などの活動を通して、一般社会に対しても免疫(学)の重要性をアピールし、研究への理解を深めていただく努力をしています。

## 日本比較生理生化学会



会長：神崎 亮平  
(2014年6月1日現在)

- 1978年設立
- 会員数：514名 (2014年6月26日現在)
- 〒153-8904  
東京都目黒区駒場4-6-1  
東京大学先端科学技術研究センター  
生命知能システム分野内
- Tel：03-5452-5196
- Fax：03-5452-5196
- E-mail：office@jscp.org
- URL：http://jscp.org/

本学会は、比較生理生化学および関連分野の学術研究を振興し、広範な生命現象の理解をはかることを目的としています。多様な生物が進化により獲得した環境に適応するしくみを、生物間の「比較」を通して理解することを目指しています。全国大会を年1回、他学会との合同シンポジウムなども随時開催しています。年4回学術雑誌「比較生理生化学」を発行するとともに、関連分野の出版事業、教育活動を積極的に推進し、広く社会に貢献することも目指しています。また、ホームページ上に関連分野のトピックスを平易に解説した「動物の生きるしくみ事典」や本学会員が研究材料とする様々な動物種などを公開し、当該分野の魅力を広く一般に紹介することにも取り組んでいます。

## 日本分子生物学会



理事長：大隅 典子  
(2014年6月1日現在)

- 1978年設立
- 会員数：14,041名 (2013年12月現在)
- 〒102-0072  
東京都千代田区飯田橋2-11-5  
人材開発ビル4階
- Tel：03-3556-9600
- Fax：03-3556-9611
- E-mail：info@mbsj.jp
- URL：http://www.mbsj.jp/

分子生物学は、生命現象を分子レベルで解明することを目指して、今日まで発展してきました。本学会は学問の新しい流れに大胆且つ柔軟に取り組み、形式より実質を重んじる気風を特徴に活動しています。分子生物学に関する研究・教育の推進、現代生物学の発展に寄与することを目的として、学術年会を年1回開催し、学会誌Genes to Cellsを年12回刊行しています。また2012年より、あらたな国際会議支援事業を開始しました。

## 日本薬理学会



理事長：飯野 正光  
(2014年6月1日現在)

- 1927年設立
- 会員数：4,902名 (2013年12月末日現在)
- 〒113-0032  
東京都文京区弥生2-4-16  
学会センタービル
- Tel：03-3814-4828
- Fax：03-3814-4809
- URL：http://www.pharmacol.or.jp/

平成24年1月に公益社団法人に移行し、事業活動や学会運営に一層の公益性が求められていることを踏まえて、次の活動を行っている。薬理学に関する学理及び応用の研究についての知識の普及、会員相互及び内外の関連学会との連携協力により、薬理学の進歩を図るため、年会、地方部会(年6回)、共催シンポジウム、セミナー、及び市民公開講座を開催し、学術誌Journal of Pharmacological Sciences及び日本薬理学雑誌を毎月発行している。また江橋節郎賞、及び若手を対象とする奨励賞等の顕彰を行っている。

## 日本比較内分泌学会



会長：竹井 祥郎  
(2014年6月1日現在)

- 1975年設立
- 会員数：約450名
- 〒277-8564  
千葉県柏市柏の葉5-1-5  
東京大学大気海洋研究所生理学分野内  
日本比較内分泌学会事務局
- Tel：04-7136-6202
- Fax：04-7136-6206
- E-mail：hyodo@aori.u-tokyo.ac.jp
- URL：http://www.jsce1975.jp/

日本比較内分泌学会は、理学、農学、医学、薬学、化学など多様な分野の研究者が集い、わが国における基礎的な内分泌学の発展を担っている。これまで2回の国際学会を主催するとともに、毎年学術集会およびシンポジウムを開催し、学会誌「比較内分泌学」を年3回発行している。また、教育と社会貢献の一環として出版活動を行っており、ホルモンの生物学、内分泌器官のアトラス、ホルモンハンドブック等、多数を出版している。

## 日本分類学会連合



代表：村上 哲明  
(2014年6月1日現在)

- 2002年設立
- 会員数：加盟学会25学会 (2014年6月現在)
- 〒192-0397  
八王子市南大沢1-1 首都大学東京大学院  
理工学研究科生命科学専攻内
- Tel：042-677-2427
- Fax：042-677-2421
- E-mail：antist@tmu.ac.jp
- URL：http://ujssb.org/

本連合は、日本国内の生物の分類に関わる学会の連合組織として、分類学全般に関する研究および教育を推進し、分類学分野の普及と発展に寄与することを目的に設立されました。加盟学会数は現在25です。ニュースレターの発行(年2回)のほか、毎年1月初旬に開かれる総会に合わせた1または2つのシンポジウムを開催しています。またABS問題の説明会や国内の重要標本データベースの構築などでも主体的に活動しています。

## 生物科学学会連合 入会(加盟)のご案内

生物科学学会連合は生物科学に関連する学術団体の連合体で、その構成員(会員)は個人ではなく学協会および連合体です。  
入会方法の詳細は、生物科学学会連合事務局へお問い合わせください。

### 生物科学学会連合

中西印刷株式会社 東京営業部内  
〒113-0033 東京都文京区本郷2-26-11  
浜田ビル5階  
Tel：03-3816-0738 Fax：03-3816-0766  
E-mail：seikaren@nacoss.com

<http://www.nacos.com/seikaren/>

# 生物科学学会連合

The Union of Japanese Societies for Biological Science



2014 - 2015

## ご挨拶



生物科学学会連合代表  
浅島 誠

21世紀は生命科学又は生物科学の時代だと言われております。そのような中で「生物科学」または「生物学」の発展のためにどのようなことを今、私達が現世代や次世代のためになすべきかについて考えています。生物学系学会が緩やかな結びつきのもと、全学会が平等な立場で連合を立ち上げています。国は日本を科学技術立国にするために「科学基本法」などをつくりましたが、大学や教育・研究現場における理科離れは進んできており、このままでは日本の教育、とりわけ「理科」そのものも危ういのが現状です。

一方、理科の分野においては「物理学会」や「化学会」のような大きな学会が存在し、それなりに政府や研究・教育に対しても意見を述べたり、お互いに協力して討議したりするだけの力をもっていました。1999年、いくつかの学協会の協力もあって「生物科学学会連合」は発足する運びとなり、「生物科学学会連合」はその後、大学等の法人化や政府の科学政策の変更などにより、もっと強い意見の表出が求められるようになってきました。

この4年間の中では、生科連の果たしてきた役割もやっと科学者や研究者、そして生物科学に携わる皆様にも可視化

## 加盟団体一覧 (五十音順)

- |           |            |
|-----------|------------|
| 個体群生態学会   | 日本生態学会     |
| 日本味と匂学会   | 日本生物教育学会   |
| 日本遺伝学会    | 日本生物物理学会   |
| 日本宇宙生物科学会 | 日本生理学会     |
| 日本解剖学会    | 日本蛋白質科学会   |
| 日本細胞生物学会  | 日本動物学会     |
| 日本時間生物学会  | 日本発生生物学会   |
| 日本実験動物学会  | 日本比較生理生化学会 |
| 日本植物学会    | 日本比較内分泌学会  |
| 日本植物生理学会  | 日本微生物生態学会  |
| 日本進化学会    | 日本分子生物学会   |
| 日本神経化学会   | 日本分類学会連合   |
| 日本神経科学学会  | 日本免疫学会     |
| 日本生化学会    | 日本薬理学会     |

(2014年6月現在)

できるものができつつあります。

その一つは昨年(2013年)、政府が突然発表したいわゆる「日本版NIH」構想についての対応です。この新構想では文科省の科学研究費(科研費)からも数百億円を元手にしようとした。生科連はこの動きに「深い懸念」の声明と、記者会見を開きました。このこともあって科研費には手を付けられないことになりました。基礎生物学やボトムアップ型研究が我が国では、科研費によって支えられているところが多いです。科研費の充実と公費の増大は今後も大きな課題です。

また、現在、「新課程の高校の生物」での用語の統一、「ポストドク問題と雇用」についてのワーキンググループを設置して、活動しています。

他にこの生科連の規約の改定、国際生物学連合(IUBS)、国際生物学オリンピック(IBO)、日本学術会議との協力関係など、様々な問題に取り組み着実に成果を上げつつあります。

生科連がお互いに忌憚のない意見や討議を通じて生物学の一層の発展に寄与することを願っております。御協力と御指導をよろしくお願い申し上げます。

## 個体群生態学会



会長：斎藤 隆  
(2014年1月1日現在)

- 1961年設立
- 会員数：360名
- 〒603-8148  
京都市北区小山西花池町1-8  
俣土倉事務所内 個体群生態学会事務局
- Tel：075-451-4844
- Fax：075-441-0436
- E-mail：bwa36248@nifty.ne.jp
- URL：http://www.population-ecology.jp/

生物の個体群に関係した生態学や進化学の発展をはかるため、大会を年1回開催。日本の生態学分野の英文誌としてもっとも歴史が長く、国際的評価も高いPopulation Ecologyを年4回発行。若手研究者の顕彰などにも取り組んでいる。

## 日本味と匂学会



会長：宮本 武典  
(2014年6月1日現在)

- 1991年設立
- 会員数：830名
- 〒112-8681  
東京都文京区目白台2-8-1  
日本女子大学理学部生体情報科学研究室
- Tel/Fax：03-5981-3668
- E-mail：jasts@fc.jwu.ac.jp
- URL：http://jasts.com

本学会は、前身である味と匂のシンポジウムが1967年に発足して以来、味と匂に関する科学の広範な研究の進展を図るため、学術大会の年1回開催、学術講演会/ワークショップの随時開催、日本味と匂学会誌の年3回刊行、メーリングリストの運用等により会員の交流を促進し、顕彰事業などを通して若手研究者の育成にも積極的に取り組んでいる。また、アジア地区連携シンポジウムを開催するなど、国際化の促進をはかっている。

## 日本遺伝学会



会長：遠藤 隆  
(2014年6月1日現在)

- 1920年設立
- 会員数：850名 (2014年1月1日現在)
- 〒411-8540
- 静岡県三島市谷田1,111
- 国立遺伝学研究所内
- Tel/Fax：055-981-6736
- E-mail：japgenet@nig.ac.jp
- URL：http://gsj3.jp/

遺伝に関する研究を奨めその知識の普及を計ることを目的に、学術集を年1回、談話会を各地で随時開催、学術誌Genes & Genetic Systemsを年6巻発行、さらにニュースレターのGSJコミュニケーションズの年3回発行等を行っている。また、学会賞・ベストペーパー賞を設け優れた研究業績を一般に知らせるとともに、奨励賞を設け若手研究者の助成を行っている。

## 日本細胞生物学会



会長：貝沼 弘三  
(2014年6月1日現在)

- 1950年設立
- 会員数：1,121名 (2014年6月1日現在)
- 〒602-8048
- 京都市上京区下立売通小川東入
- Tel：075-415-3661
- Fax：075-415-3662
- E-mail：jscb@nacos.com
- URL：http://www.jscb.gr.jp/

本会は細胞生物学の進歩発展を図ることを目的として、学術集の開催、学術誌Cell Structure and Functionの刊行、会報の発行、国際細胞生物学連合やアジア太平洋細胞生物学連合の活動への協力などを行っています。細胞生物学は、電子顕微鏡技術の発展、分子イメージング技術の発達、各種生化学的技術の開発、分子生物学と細胞工学・遺伝子工学の導入によって急速に進歩し、動物・植物を問わず、細胞の生命現象の解明は急速に進み、その成果は確実に医学・農学・薬学等へ応用されてきました。今や細胞生物学は生命科学の中心であり、本会はその進歩発展、次世代の若手研究者の育成に貢献していきたいと考えています。

## 公益社団法人 日本植物学会



会長：戸部 博  
(2014年6月1日現在)

- 1887年設立
- 会員数：約2,000名 (2014年6月現在)
- 〒113-0033
- 東京都文京区本郷2-27-2
- 東真ビル2階
- Tel：03-3814-5675
- Fax：03-3814-5352
- URL：http://bsj.or.jp/index-j.php

植物学に関する研究の進展と知識の普及を図り、それによって学術全般の発展に寄与することを目的に設立された学術団体です。(1)学術集会、講演会、講習会等の開催、(2)国際学術雑誌「Journal of Plant Research」、その他出版物の発行、(3)調査及び研究、(4)学会賞を制定し、植物学の進歩に貢献した者、もしくは将来の貢献が期待される者の表彰ならびに研究の奨励、(5)国内外の関係学術団体との連絡及び協力を行っています。

## 一般社団法人 日本宇宙生物科学会



理事長：高橋 秀幸  
(2014年6月1日現在)

- 1987年設立
- 会員数：283名(2014年4月10日現在)
- 〒633-0091
- 桜井市桜井52-1
- Tel/Fax：0744-43-2927
- E-mail：jsbss\_o@nike.eonet.ne.jp
- URL：http://www.jsbss.jp/about/

宇宙生物学は、生命を宇宙の視点・関連でとらえ、また、それを宇宙環境利用によって理解しようとするユニークな学際的分野です。それによって新たな生物学的知見を得るだけでなく、地球および宇宙における人類活動に貢献します。本会は、この宇宙生物学およびこれと関連する分野の学術研究を振興するとともに、会員相互および国際的な連携を図ることを目的とし、年一回の学術集会、公開講演会を開催し、学術誌Biological Sciences in Spaceを発行しています。2013年11月22日に一般社団法人日本宇宙生物科学会となりました。

## 一般社団法人 日本時間生物学会



理事長：近藤 孝男  
(2014年6月1日現在)

- 1995年設立
- 会員数：600名
- 〒464-8601
- 愛知県名古屋千種区不老町
- 名古屋大学大学院 生命農学研究科
- 応用分子生命科学専攻
- バイオモデリング講座
- 動物行動統御学研究分野内
- Tel/Fax：052-789-4066
- URL：http://wwwwsoc.nii.ac.jp/jsc/

基礎科学から応用科学に至る時間生物学の広い領域から研究者が結集している学会である。学術集を年1回会員の持ち回りで開催するほか、機関紙「時間生物学」を年2回発行している。また、米国生物リズム研究会、欧州生物リズム学会などを統合した時間生物学学会連合の幹事学会として4年に1度の時間生物学世界大会を開催、また欧州生物リズム学会やアジア睡眠学会と国際学術会議を共同開催している。

## 一般社団法人 日本植物生理学会



会長：西村いこ  
(2014年6月1日現在)

- 1959年設立
- 会員数：2,350名 (2014年6月現在)
- 〒602-8048
- 京都市上京区下立売通小川東入
- 西大路町146番地
- Tel：075-415-3661
- Fax：075-415-3662
- URL：http://www.jspp.org/

本学会は、多様な植物と微生物を対象とした基礎研究と応用研究に携わる研究者による学術団体で、若手会員と外国人会員の比率が高いのが特徴です。創立55周年を迎えた本年、一般社団法人として新たな一歩を踏み出しました。学術誌Plant and Cell Physiologyは国際誌にも高い評価を得ています(2012年Impact factor 4.134)。また、学会ホームページの「みんなのひろば」の質問コーナーは年間アクセス数60万件にのぼり、国内で広く親しまれています。

## 一般社団法人 日本解剖学会



理事長：河田 光博  
(2014年6月1日現在)

- 1887年設立
- 会員数：2,369名 (2014年6月1日現在)
- 〒170-0003
- 東京都豊島区駒込1-43-9 駒込TSビル
- 一般財団法人 口腔保健協会内
- Tel：03-3947-8891
- Fax：03-3947-8341
- E-mail：gakikai24@kokuhoken.or.jp
- URL：http://www.anatomy.or.jp/

第119回総会・全国集会は2014年3月28-30日、屋代隆会頭の下、自治医科大学で開催した。学会誌は、Anatomical Science Internationalと解剖学雑誌をそれぞれ年4回発行。その他に、支部学術集の開催、学術会議関連シンポジウムへの参画・学会抄録データベースの構築・解剖学用語の検討・解剖組織技能士の認定など。また、2013年1月4日に社団法人から一般社団法人へ移行した。

## 公益社団法人 日本実験動物学会



理事長：浦野 徹  
(2014年6月1日現在)

- 1951年設立
- 会員数：1,105名 (2014年6月1日現在)
- 〒113-0033
- 東京都文京区本郷5-29-12
- 赤門ロイヤルハイツ1103
- Tel：03-3814-8276
- Fax：03-3814-3990
- E-mail：JDK06323@nifty.ne.jp
- URL：http://www.jalas.jp/index.html

実験動物はライフサイエンス研究や医薬品開発等の分野で多用され、動物実験はそれらの研究開発に不可欠な手段として広範な分野で実施されています。日本実験動物学会は、マウスから霊長類まで多様な実験動物に関する基礎及び応用研究、動物実験に関する技術開発等に携わる研究者、技術者を主な会員とし、年1回の定期学術集会、学術シンポジウムや動物実験の適正化に関するセミナー等の開催、学術誌Experimental Animalsの刊行を行っています。

## 一般社団法人 日本進化学会



会長：長谷部光泰  
(2014年6月1日現在)

- 1999年設立
- 会員数：1,130名 (2014年6月1日現在)
- 〒102-0072
- 東京都千代田区飯田橋3-11-15
- UEDAビル6階 株式会社クワプロ内
- Tel：03-3238-1689
- Fax：03-3238-1837
- E-mail：shinka@kuba.jp
- URL：http://sesj.kenkyuukai.jp

日本進化学会は、進化に関する広範な研究および教育を推進し、我が国におけるこの分野の発展に寄与することを目的に設立されました。年1回の学術集会では、研究発表、優秀発表の表彰、初心者向け教育プログラム、高校生発表会、市民向け講演会を行っています。日本進化学会賞、研究奨励賞、教育啓蒙賞により研究の奨励と一般への研究成果の発信を行っています。年3回の日本進化学会ニュースを発行し、会員間での情報の共有を行っています。国内外の関係団体と国際学会などの共催を通して進化学の国際化に寄与しています。

## 一般社団法人 日本神経化学会



理事長：木山 博資  
(2014年6月1日現在)

- 1958年設立
- 会員数：1,400名
- 〒160-0016
- 新宿区信濃町35信濃町煉瓦館
- (財)国際医学情報センター内
- Tel：03-5361-7107
- Fax：03-5361-7091
- E-mail：jsn@imic.or.jp
- URL：http://www.neurochemistry.jp/

日本神経化学会は、「神経化学」を標榜する世界の学会のなかで最も長い歴史と最大級の会員数を有する学会であり、1958年に神経生理学、神経薬理学、神経化学、精神医学、神経内科学を中心とした基礎研究者と臨床医学者が集い結成された。脳と神経の病気の原因や発症の仕組みについて分子実体を基盤として明らかにしていくこと、そしてそこからサイエンスの新しい地平線を開くことが本学会の主たる使命である。そのために、口演発表と討論の充実による若手会員の育成、基礎と臨床の連携強化、脳・神経・グリア研究の推進などを実践している。

## 一般社団法人 日本生態学会



会長：齊藤 隆  
(2014年6月1日現在)

- 1953年設立
- 会員数：約4,000名
- 〒603-8148
- 京都市北区小山西花池町1-8
- Tel/Fax：075-384-0250
- URL：http://www.esj.ne.jp/esj/

生態学の進歩と普及を図ることを目的として、日本生態学会は、生態学およびその関連分野に関わる研究を推進するため、研究者を始め関連する職業や学生の方々を会員として、1953年に設立されました。これまで自然保護委員会を中心として数々の自然保護に関わる提言や要望書を提出してきましたし、生態系管理委員会でも自然再生に対する提言を行ってきました。最近の生物多様性や気候変動などの問題を通じて、当会と社会への関わりをこれまで以上に広げています。

## 一般社団法人 日本生理学会



会長：栗原 敏  
(2014年6月1日現在)

- 1922年設立
- 会員数：2,916名 (2014年1月現在)
- 〒160-0016
- 東京都新宿区信濃町 煉瓦館5階
- (一財)国際医学情報センター内
- Tel：072-729-4125
- Fax：072-729-4165
- E-mail：psj@imic.or.jp
- URL：http://physiology.jp/ (日本語版)
- http://int.physiology.jp/ (英語版)

年一度の学術大会(通常3月または4月)を開催する他、7つのブロックで地方会を開催している。学会誌として、英文誌(Journal of Physiological Sciences)および和文誌(日本生理学雑誌)を刊行している。2006年8月に有限責任中間法人日本生理学会となり、2009年3月以降は一般社団法人日本生理学会となった。

## 一般社団法人 日本神経科学学会



会長：田中 啓治  
(2014年6月1日現在)

- 1974年設立
- 会員数：5,588名 (2014年1月1日現在)
- 〒113-0033
- 東京都文京区本郷7丁目2-2
- 本郷ビル9F
- Tel：03-3813-0272
- Fax：03-3813-0296
- E-mail：office@jnss.org
- URL：http://www.jnss.org/

脳・神経系に関する基礎、臨床及び応用研究を推進し、その成果を社会に還元、ひいては人類の福祉や文化の向上に貢献すべく、神経科学研究者が結集した学術団体です。本学会は会員の成果発表、情報交換及び連絡連携の場として学術集を開催するとともに、英文学術誌Neuroscience Researchを発行して研究成果を世界に向けて発信しています。また、学術集と連動して市民公開講座を開催し、社会に貢献する活動にも取り組んでいます。

## 一般社団法人 日本生物教育学会



会長：米澤 義彦  
(2014年6月1日現在)

- 1955年設立
- 会員数：約800名
- 〒980-0845
- 仙台市青葉区荒巻字青葉149
- 宮城教育大学 田嶋研究室内
- Tel：022-214-3420
- Fax：022-214-3420
- URL：http://sbsej.jp/

日本生物教育学会は、生物教育に関わる学術的及び実践的研究の振興を目的として活動しています。会員の研究活動の交流の場として、会誌「生物教育」を発行するとともに年2回の全国大会を開催しています。その他、生物教育サポート委員会による生物教育へのサポート事業、大学入試センター試験の問題検討、日本生物学オリンピックへの協力などの活動を行っています。

## 一般社団法人 日本蛋白質科学会



会長：遠藤志也  
(2014年6月1日現在)

- 2001年設立
- 会員数：1,437名
- 〒562-8686
- 大阪府箕面市稲4-1-2
- Tel：072-729-4125
- Fax：072-729-4165
- E-mail：pssj@senri-inter.jp
- URL：http://www.pssj.jp/

日本蛋白質科学会は2001年に設立され、広く蛋白質に関する科学の研究を推進し、わが国における学術の発展に寄与することを目的としています。年に1回の年会の開催、学術集会・講演会の開催、電子メールによるニュースレターの発行、蛋白質科学会アーカイブによるオンラインの情報発信、アジア環太平洋地域における蛋白質科学の国際連携などの活動を行っています。蛋白質科学の研究や教育に関わる次世代の人材育成にも力を入れています。

## 公益社団法人 日本生化学会



会長：中西 義信  
(2014年6月1日現在)

- 1925年設立
- 会員数：8,505名 (2014年5月31日現在)
- 〒113-0033
- 東京都文京区本郷5-25-16
- 石川ビル3階
- Tel：03-3815-1913
- Fax：03-3815-1934
- URL：http://www.jbsoc.or.jp/

日本生化学会は1925年に設立された長い歴史を持つ組織であり、生命現象を分子・遺伝子・細胞・組織あるいは個体のレベルで解明することをめざして研究(基礎・応用)、教育、行政などに携わる人たちの交流の場となっています。全体での年次集会(大会)を開いて会員の発表の場とし、各地域に在住する会員で構成される8つの支部組織により会員からのさまざまな要望に応えます。和文誌「生化学」を年6回、英文誌「Journal of Biochemistry」を年12回、それぞれ発行しています。

## 一般社団法人 日本生物物理学会



会長：七田 芳則  
(2014年6月1日現在)

- 1960年設立
- 会員数：約3,200名
- 〒565-0871
- 大阪府吹田市山田丘1-3
- 大阪大学大学院 生命機能研究科内
- Tel：06-6879-4629
- Fax：06-6879-4652
- URL：http://www.biophys.jp/

本学会は、「物理的科学の方法一般と生物的科学との融合による生命現象の基本的理解」を目的として設立された。この目的を達成するために、学術集会(年会)を年1回開催するとともに、学術誌「生物物理」およびOn-line journal「BIOPHYSICS」を発行している。若手研究者の育成のため、若手奨励賞による顕彰、海外派遣の支援等を行っている。また、アジア生物物理学連合に協力し、アジアの生物物理振興にも貢献している。

## 公益社団法人 日本動物学会



会長：阿形 清和  
(2014年6月1日現在)

- 1878年設立
- 会員数：2,365名
- 〒113-0033
- 東京都文京区本郷7-2-2
- 本郷MTビル4階
- Tel：03-3814-5461
- Fax：03-3814-6216
- E-mail：zsj-society@zoology.or.jp
- URL：http://www.zoology.or.jp/

動物科学研究の発展と普及を目的とし、学術集を年1回開催、本部企画シンポジウムおよび会員企画シンポジウム/講演会の開催、学術誌Zoological Scienceを年12回刊行、さらにメールマガジンの年12回発行等により会員の交流を促進し、若手の海外派遣助成や女性研究者奨励OM賞による研究者育成にも取り組んでいる。7つの支部において支部大会と県例会を開催、公開講演会や高校生ポスター賞、学生発表表彰制度などの取り組みを行っている。